

# AP SEIKO 講座概要

教授伝授シリーズ ～出題者・採点者・合否判定者の視点から教える～

哲学・思想

## No.2 ポパーとクーン

### —— 科学とは何かを哲学から論じる

#### 導入

「科学的であるとはどういうことか」——この問いに答えられる受験生はほとんどいない。カール・ポパーの「反証可能性」とトーマス・クーンの「パラダイム論」は、科学の本質を問う現代哲学の2大理論だ。医学部・理学部の入試で「EBMとはなにか」「科学的思考とは」を問われたとき、この2つの枠組みを使えば格段に論証の質が上がる。この講座では、科学哲学の基礎をEBM・医学研究への応用まで接続して習得する。

#### 授業目標

- ポパーの反証可能性（科学と非科学の境界線）の概念を医学研究に適用して説明できる
- クーンのパラダイム論（通常科学・科学革命・パラダイムシフト）を医学史の事例で論じられる
- EBM（根拠に基づく医療）と科学哲学の接続を論証に使える
- 「科学的であること」の意味を面接・論述で哲学的に語る

#### 授業構成（90分）

時間	内容
0～15分	衝撃体験：「血液型性格診断は科学か」でポパーの反証可能性を直感的に体感
15～40分	ポパーの反証可能性とクーンのパラダイム論の詳解と比較
40～65分	医学への適用：「フロイト精神分析の反証不可能性」「コペルニクス的転換としての細菌学」
65～90分	面接・論述応用：「EBMの哲学的基盤」「科学の限界と医師の判断」

#### 課題

授業後：「医学における科学的思考とは何か——ポパーとクーンの視点から」論述（600字）を作成・提出。

#### 備考

医・理学部対応。科学論・認識論の出題がある大学（東大・京大・理学部全般）を志望する受験生に特に推奨。統計リテラシー・EBMシリーズとの相乗効果が高い。